

# 重症心身障害児者の意思決定支援

## スイッチ・コム

### 支援勉強会

主催：NPO 法人フュージョンコムかながわ  
・県肢体不自由児協会

平成29年2月4日（土）

10:00～16:00（受付9:30～）

会場：神奈川県社会福祉会館

4階 第1・2研修室

〒.221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

講師： 特定非営利活動法人 地域ケアさぽーと研究所理事 下川 和洋 様  
製作講座講師 おおきなき 代表 相澤 純一 様

#### 【趣 旨】

ご本人の意思表示をどのように受け止めて差し上げたらいいか、相手の意思や発信が読み取れず、立ち往生してしまうことがありますね。相手にどう伝えたら伝わるのか、伝えたいことを届けることができず、なぜか無言になったりしていませんか？

コミュニケーションの困難な方の気持ちを読み取るために、いろいろな機器が考えられてきています。わずかな力を感じて機器を動かすピエゾスイッチや視線の動きで意思伝達する「マイトビー」など、コミュニケーションを支援する機器が現場で使われ始めています。また、スマートフォンやタブレットを利用した様々な支援ツールも広がってきています。

児童発達支援事業から生活介護事業所の利用者さんまで、障害の重い方のコミュニケーション支援を学び、日々の関わりを振り返り、広くコミュニケーションの在り方を見つめ直してみませんか。

「マイトビー」等をもって、在宅の方のところで実践されている講師から、いろいろ学びたいと思います。コミュニケーション豊かに暮らすことに、関心のある方、どうぞご参加ください。

#### 【日 程】

時 間	研 修 室 <A>	研 修 室 <B>
10:00～10:10	主催者挨拶	主催者挨拶
10:10～12:00	講義演習1 「介護者の感度アップがコミュニケーションを豊かにする」 ～意思決定支援の基本から 意思伝達装置を用いた実践まで～ 講師：下川和洋先生	スイッチToy製作講座 「スイッチでおもちゃを動かそう」 ～色々なスイッチ紹介～ <参加者10名まで> 講師：相澤純一先生他
12:00～14:00	昼食・休憩・自由体験（演習） 13:00より意思伝達装置の全体説明・デモンストレーション 「訪問カレッジ」の実践事例の紹介など	
14:00～16:00	講義演習2 「iPadやiPhoneを使ってコミュニケーション教材を作ろう」 ～支援にすぐ活かせるツールを ご紹介します～ 講師：下川和洋先生	スイッチToy製作講座 「スイッチでおもちゃを動かそう」 ～色々なスイッチ紹介～ <参加者10名まで> 講師：相澤純一先生他

（自由体験：コミュニケーション機器を体験しよう）

- 体験①「マイトビー」を使って視線でゲームを楽しもう！ …… (株)クレアクト 馬越賢二様  
体験② スイッチで電化製品やiPadを操作しよう！ …… 吉田光伸様  
体験③ スイッチで動くおもちゃで遊ぼう！ …… 相澤純一様 新田和久様  
体験④ レッツチャットとKAGURAとMabeeで遊ぼう！ …… 下川和洋様  
その他

## スイッチトイ製作講座「スイッチでおもちゃを動かそう」について

定員各10名の予約制(先着順)で、別途材料費をいただきます。作成するスイッチと玩具を選んでいただき、簡単なスイッチとアダプターを製作し(はんだ付け等の細かい作業になります)おもちゃなどをスイッチで動かします。でき上がったスイッチは、お持ち帰りして頂きます。

前半(10:10~12:00)10名、後半(14:00~16:00)10名の2班編成で実施します。

## 講義演習2「iPadやiPhoneを使ってコミュニケーション教材を作ろう」

アプリBitsboard(無料版)は、Apple社のiPhone等の対応となります。(アンドロイドスマホには対応していません)iPadやiPhoneをお持ちの方は、ご自分のiPadやiPhoneに事前にBitsboard(右の図)をApple Storeからダウンロードしてお持ちください。お持ちでない方は、事務局の方で2~3人に1台お貸しします。お申し込み時に、iPadやiPhoneの有無をお知らせください。



○参加費 : 500円(資料代) 会員 400円(当日受付にて頂きます)

◎スイッチトイの製作材料費は、別途製作物(500円~2500円)を決定次第、お支払いいただきます

○定員 : 80名(ただしスイッチ作成は各先着10名です。)

○申込締切り:平成29年1月26日(木)

### ○講師紹介

<講義演習指導>下川和洋先生(NPO法人地域ケアさぽーと研究所)(女子栄養大学非常勤講師)

都立特別支援学校で長年、訪問教育や医療的ケアなどが必要な障害の重い子どもの教育に携わり、1999年1月に開設したホームページ「医療的ケアが必要な子どもと学校教育」は現在までに30万以上のアクセスとなり、ホームページやFacebookや研修会等で情報発信しています。また、平成24年から実施の国の「喀痰吸引等制度」の誕生に、大きな働きをされました。

現在は、特別支援学校や大学、児童発達支援事業所や生活介護事業所の非常勤、さらにNPOでは「訪問カレッジ」という事業で、通所が難しい在宅・施設で過ごす障害の重い方の生涯学習保障として、「伝の心」「オペレートナビ」「マイトビー」など各種意思伝達装置を活用したコミュニケーション支援を進めています。

<製作講座担当>相澤純一先生(おおきなき 代表)

都立特別支援学校に長く勤められ、現在、『おもちゃと絵本の部屋』を週1回開室し、共に生きることを考えるための講座や特別支援学校卒業後の生涯学習の支援等に取り組んでいます。頂いたお手紙には、「私は、子ども達にどう向かい合っていくか、マジカルトイボックスから多くのことを学んできました。退職してからもスイッチ教材は、子どもたちの可能性を引き出す大事な道具として手放せません。製作を続けています。」と述べられています。



※「スイッチ・コム支援勉強会」は、公益財団法人 神奈川新聞厚生文化事業団の支援を頂いて実施します。

- ・JR横浜駅西口ダイヤモンド地下街に入り直進
- ・一番突き当たり左奥の階段を上る(南12出口)
- ・ホテルキャメロットジャパンを左手に直進
- ・鶴屋町交差点歩道橋を渡り、沢渡公園手前を左折。

問い合わせ:担当:成田、山田、松田

NPO法人 フェージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会

〒. 221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

Tel.045-311-8742

Fax.045-324-8985

